

児童養護施設

風花ホーム 今年度の風花ホームは十五名での生活が始まり、二ヶ月やかなり経過しています。好きなアイドルグループの話で盛り上がりテレビや録音を見ては「みてみて。かっいいい」と黄色い声で響いています。グループの中でも「あれこれ好きがあるよ」と「私はこの人が好き」「え、私はこの人が好き」とお互いに話し微笑ましい場面もあります。

夏休みには夏ならではの行事を計画していましたが今年も台風の影響でキャンプやプールに行けず別プログラムに。男子ホームが計画通りに行けた事に対して「すいーやん」と言う事もありません。天候も順は仕方ないけど、納得いかなかったです。キャンプの為に準備した物で皆が協力し、焼きそば、鳥、パン、キウイ等の昼食作り、シート、フル形式の配膳でいつもと違う食事を喜びました。長かった夏休みもアツアツと2学期を迎え、ホッと今更けの頃。

海ホーム 海ホームは今年度高校に入学した子どもも多く、全体的に高校生が増え、新たなスタートをしました。それぞれ勉強に加え、新たな活動も新しい環境の中でも頑張っています。今年の夏は悪天候が続き、予定していた夏の行事がいくつか中止する事になりました。比較的室内で過ごすことが多くなりました。それでも、油谷青少年自然の家への宿泊体験や、花火大会、夏祭りなどそれぞれ楽しんで過ごしてくる出来ました。宿泊体験では海水浴やカヤックに加え、肝試し、そうめん流し、バーベキュー、花火などの夏ならではの遊びを満喫しました。また、学院行事や市内行事では準備や手伝いなどもしっかり行っていました。頼もしく思っています。

中学三年生は部活を引退し、いよいよ受験モード突入です。各高校のオープンキャンパスにも参加し、進路を決める大切な時間を過ごしました。それぞれの目標や夢に向けて頑張っています。

月ホーム 今年度の月ホームは今までで一番の人数となりました。穏やかな月ホームがガラツと変わり、良くも悪くも戸惑いながらもスタートでした。戸惑いが楽しさへと変わり、大騒ぎまで発展する日々。笑う事にも体力が取れないことを知りまし。

そんな状態で迎えた夏休み。今年も空っぽにらめつ。キャンプが2年連続雨天プログラムになって、プールの嵐です。でも、お盆に況でも楽しければ、中ではしゃべりやない、ホットプレートで、ガスコンロにフライパン、リボンもしたりと、それはそれでとても素敵な思い出になりました。

自分の思い通りにいかないことはたくさんあります。それでも、その中でどれだけ楽しめるのかは自分次第。試行錯誤を繰り返して、最後はみんな笑顔で迎えるホームでいたいです。

鳥ホーム 三月末、鳥ホームに今までの一番小さな二歳六ヶ月の男の子がやってきました。「かわい」「ちゅっ」といながら、皆で囲んで色々な事を教え、それに反応するちゅちゃんを見て「笑いよ」「おもしろい」といって、ちゅちゃんも半年で言葉が増え、生意気を言うようになった。ちゅちゃん、ちゅちゃん、ちゅちゃん。それでも、お兄ちゃん達が腹を立てる事の方が少ない状況に驚いています。ちゅちゃんのお陰で、皆が成長出来ているような印象を受けます。

夏休み。今まで三年間頑張ってきた部活を引退したお兄ちゃん。よく頑張りました。いよいよ受験勉強です。頑張ってください。

皆で海やキャンプ、お祭り等色々な夏行事を体験しました。お兄ちゃん達を見て嬉しくなりました。あー、当然、宿題もしっかり取り組みました。

そよ風

今年の夏は旧乳児院の解体工事のため屋外での遊びができず、外泊イベント料理制作など、昨年は違う内容を念頭に人入れ取り込みました。その中でも子ども達、全員で作品を作り上げる事を四月より重点的にしてあります。この夏はクワイアをメインで取り組んでいます。

今回は綿棒を使用し、来年に迫った東京パラリンピックのマークを作成することにしました。綿棒を二つに折るところから始まり、マークのカラーである赤、青、緑に色を塗り、スチロールに刺す工程をおこなっていき、子ども達によつて折るものが得意な子、刺すのが得意な子など自分達が頑張れるところで少しずつ作り上げていきました。

みんなで作った作品がいろいろな人に見てもらい、子供たちにとつて自信につながる幸いと思っています。

乳児院 光二ツとは、さくらグループ七名ちゅつり。グループ五名の乳児院たちが生活しています。さくらの七ヶ月までの乳児は毎日元の陽射しを受けた明るい室内で保育者に抱っこされながらゆつたりと授乳タイムを楽しみます。時には青々と広がり、芝生にシートを敷き、外の景色を楽しんだり、ベビーカーに乗って院庭を散歩したりして過ごします。語りかけると可愛い笑顔を見せ、「うー」とおしゃべりをします。

ちゅつりには二名の姉妹と男児名。お姉ちゃんはお世話を焼いたり抱っこしようとしていたり。お世話を焼いたり抱っこしようとしていたり。お世話を焼いたり抱っこしようとしていたり。お世話を焼いたり抱っこしようとしていたり。

ひまわり、ももぐら ぴまわり、ももぐら、お話しすることが好きな三才男児、可愛い声と動作で自己主張する二十才女児に喃語を喋る〇才女児などの計九名が賑やかに仲良く過ごしています。

新築の匂いが残る広い居室の大きな棚から自由に玩具を取り出し、時々ケンカをしながらも仲良く遊びます。年下の児に玩具を渡したり哺乳瓶に手を添えたり、あやしてくる姿は何とも微笑ましいものです。

院外に出かける機会が増え靴を持ってきて「行きたい」とアピールします。中庭の芝生でしゃぼん玉プール、花火を楽しみ、玄関外の遊具で汗たぐいで遊んでいます。

年齢差、月例差があるため個々に合った生活や遊びを行いながら「やりたい」を大切に「楽しい」「嬉しい」を皆で共有し、キラキラ輝く笑顔がこれからも見られるよう、しっかりかえを受けとめて成長を見守っていきます。

いづも元気がいい 好奇心旺盛な夢二ツとは、女児二名、男児名のすみれグループと男児三名、女児名のたんぽぽグループ。八名の子ども達とつ屋根の下で日々楽しく生活しています。

夏、青々とした芝生の上を初めて裸足で歩いた時は、感触に驚きつま先立ちで歩き、慣れると「キヤツキヤツ」と大声で笑い走り回っています。プール遊びでは、水を怖がり泣いて抱っこを求め、水鉄砲で水をかけあい、喜び、お兄ちゃんを求めています。花火は保育者と一緒を持って火花をじつと見つめています。

二ツとをその場で食べた、収穫した西瓜でスイカ割りや素麺流し等、楽しい体験がたくさんありました。

日々、泣いたり、笑ったり、怒ったり、又笑ったりと表情豊かな子ども達と大きな夢を持ち、保育者も一緒に楽しく過ごしていきたいと思っています。

乳児院



紙風船

紙風船は、乳児院と共に、今年3月に古風町に移転しました。センター長、相談支援員5名、常勤心理担当職員1名、非常勤心理担当職員3名で新たなスタートを迎えました。

新しい相談室、心理療法室、家庭支援室として地域交流室は、利用児童にもとても評判がよく、喜んでもらっています。職員も新たな気持ちで支援をしています。

昨年度から始まった市からの委託事業である、ご家庭支援拠点事業も軌道に乗り、市とも連携を取りながら様々なケースに対応しています。

毎年行っている工作教室については、今年度も、紙風船の地域交流室でも行い、教室で地域の子を募りました。ご自身の教室でも意欲的に取り組むことが出来ました。

新天地でも地域に根差した子育て相談の場所となるよう、相談者に寄り添った姿勢を忘れず、支援をしていきたいと思っています。

令和元年度 新入職員コメント

試行錯誤の毎日、とても充実しています。これからも子ども達が安心して過ごせる生活を支援していきたいです。

松尾 善

慣れないことだらけですが充実した日々を送っています。子ども達が楽しく過ごしていきたいと思います。

川端 折恵

まだまだ慣れない事がありますが、子ども達と良い関係を作っていけるようにしていきたいです。

丸尾 悠稀

ちやあちゃんが居たら安心して遊べる環境を感じてもらえる様に頑張ります。

鶴田 マミ

子ども達との関わりで試行錯誤の日々を過ごして、多くのご声を頂きました。これからも笑顔で忘れず子ども達と関わり、頑張っていきたいです。

山田 夏穂

日々子ども達と接する中で、子ども達が楽しく快く過ごせるよう笑顔でプラスの言葉掛けを行っていきたく思います。

松尾 権恋

子ども達に笑顔でお世話が出来ると、仕事にやりがいがあります。

土岐 美幸

子ども達の名前を大切に呼ぶことを心がけ、子ども達が安心して楽しく生活出来るようにこれからも頑張ります。

中尾 玲香

子ども達と元気がいっぱい遊んだり、お出かけしたりして楽しい思い出を作っていきます。

吉崎 紗智

子どもの「笑顔」を大切に、優しい心で子ども達と毎日楽しく元気に過ごしていきたいと思います。

岩田 妹子

特殊車両&いのちの旅博物館 見学

この度、後援会よりマンフロバスをチャーターして頂き、いのちの旅博物館とNEXCO 西日本の特殊車両見学に行かせていただきました。

NEXCO 西日本では、皆様の暖かいお出迎えに感謝しました。あまり慣れ親しむことのない数々の特殊車両に子どもたちも心も底からワクワクしていました。パトカーに乗ると、「前の車止まりなさい。」と現場に立ち向かう警察官になり、散水車では放水体験に興奮して、お見送りしていただきました。この度は大人も興味津々に大変貴重な経験をさせて頂くことができました。



そよかせ

なかべ学院
中部少年学院後援会
〒750-0081
山口県下関市彦島角倉町
3丁目6番17号
TEL (083) 266-1934
発行 広報部
印刷
(株) ナカハラプリンテックス
TEL (083) 266-4601

題字 小野倉藏



子ども・子育て支援新制度が施行され、児童家庭福祉が大きな転換期を迎えた平成の終わりに、中部少年学院では、乳児院と紙風船の新築移転というとても大きな変化がありました。元号も令和に変わり、中部少年学院にとっても大きな変革期となりました。

昭和二十一年の開院以来、地元角倉町や彦島の皆様を始め、下関市内外や県外の沢山の方々にお支えいただき、またご指導ご協力をいただき、中部少年学院の今日がありますことあらためて感謝申し上げます。

日頃からお世話になっている皆様に「おかげさまで、学院の子ども達はこんなにくすくすと成長していますよ」と、その様子を垣間見て頂ける機会になるように、中部少年学院では四つの地域交流行事を行なっています。今年も旧乳児院舎の撤去工事で残念ながら「さつき祭」はできませんでしたが、八月十七日には「盆踊り」を行いました。「おやし（注）創設者小野倉藏」と盆明けの十七日なら中部に行けると約束したから」と、約四十年前の約束を守り続けていた山の中町平家踊り保存会の太鼓と音頭に、熱さも忘れ、今年も地域の皆さんと踊ることができました。

残るは体育の日（今年も十月十四日）の「運動会」と暮れの「クリスマス会」（十一月十四日予定）です。乳児院と紙風船の移転で乳児の参加が難しくなったことで、今までのような活気や華やかさ、可愛らしさに欠けるかもしれませんが、ご案内をさせていただきますので、ぜひご来院いただき子ども達の成長を見守っていただきたいと思います。

さて、乳児院なかべ学院の建て替えと小規模化は無事に終わりました。次は、児童養護施設なかべ学院の小規模化と地域分散化及び高機能化・多機能化等に向けて動き出すこととなります。今後、さまざまなご支援やご協力をお願いすることと存じますので、その節にはどうかよろしくお願いいたします。



地域交流

児童養護施設なかべ学院
施設長 咲賀 信幸

子ども・子育て支援新制度が施行され、児童家庭福祉が大きな転換期を迎えた平成の終わりに、中部少年学院では、乳児院と紙風船の新築移転というとても大きな変化がありました。元号も令和に変わり、中部少年学院にとっても大きな変革期となりました。

昭和二十一年の開院以来、地元角倉町や彦島の皆様を始め、下関市内外や県外の沢山の方々にお支えいただき、またご指導ご協力をいただき、中部少年学院の今日がありますことあらためて感謝申し上げます。

日頃からお世話になっている皆様に「おかげさまで、学院の子ども達はこんなにくすくすと成長していますよ」と、その様子を垣間見て頂ける機会になるように、中部少年学院では四つの地域交流行事を行なっています。今年も旧乳児院舎の撤去工事で残念ながら「さつき祭」はできませんでしたが、八月十七日には「盆踊り」を行いました。「おやし（注）創設者小野倉藏」と盆明けの十七日なら中部に行けると約束したから」と、約四十年前の約束を守り続けていた山の中町平家踊り保存会の太鼓と音頭に、熱さも忘れ、今年も地域の皆さんと踊ることができました。

残るは体育の日（今年も十月十四日）の「運動会」と暮れの「クリスマス会」（十一月十四日予定）です。乳児院と紙風船の移転で乳児の参加が難しくなったことで、今までのような活気や華やかさ、可愛らしさに欠けるかもしれませんが、ご案内をさせていただきますので、ぜひご来院いただき子ども達の成長を見守っていただきたいと思います。

さて、乳児院なかべ学院の建て替えと小規模化は無事に終わりました。次は、児童養護施設なかべ学院の小規模化と地域分散化及び高機能化・多機能化等に向けて動き出すこととなります。今後、さまざまなご支援やご協力をお願いすることと存じますので、その節にはどうかよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 中部少年学院後援会 平成30年度 収支報告書 (単位 円)

項目	決算額	予算額	差引	摘要
収入の部				
年会費	1,291,000	1,300,000	-9,000	団体 580,000円 個人 711,000円
寄附金等	36,872	10,000	26,872	
利息	34	50	-16	
当期収入計	1,327,906	1,310,050	17,856	
支出の部				
事業費	216,621	291,000	-74,379	学院支援費 自動車免許取得費用 60,000 高校生クラブ活動奨励費 60,000 小学生スポーツ文化活動 10,000 卒園祝金(1人) 10,000 チャイルドライン年会費補助 12,500 職員自主研修補助 30,000
行事費				行事費 さつき祭材料費等 34,121
広報費	480,800	260,000	220,800	広報誌(そよかせ) 42号 700部 129,600 43号 1,000部 151,200 ビデオ制作費等 200,000
総務費	312,788	300,000	12,788	通信費(広報誌送料等) ハガキ等 93,928 38,860
雑費	6,695	20,000	-13,305	助成金 紙風船 100,000 ふれあいステーション 30,000 オレンジボン 30,000 チャイルドライン 20,000
当期支出額	1,016,904	871,000	145,904	会議お菓子 6,695
当期収支差額	311,002	439,050	-128,048	
前期繰越金	4,044,446	4,044,446	-	
次期繰越収支差額	4,355,448	4,483,496	-128,048	

社会福祉法人 中部少年学院 後援会 様
平成30年度の収支について、上記のとおり報告いたします。
令和元年 5月17日
社会福祉法人中部少年学院 後援会 計 濱村 美貴
監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。
令和元年 5月17日 会計監査 小倉 國雄

オレンジボン運動

「オレンジボン運動」とは、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

下関地区では、子ども連に関わる様々な関係団体が集まり、来る11月17日(日)10時〜下関駅前人工地盤(エキマチ広場)周辺にて、「オレンジボンたすきりレーヨ下関2019」を開催致します。今年は会場を唐戸カモンタワーから下関駅前へと変更し、またたすきりレーヨランからウォークに、市民の皆様の参加しやすい大会になるように変更しました。

恒例のステージイベント(よさこい、ヒップホップダンス、保育園児パレード等)や、参加無料のちびっこコーナー(ヨーヨー釣り、バルーンアート、綿菓子、ポップコーン等)もあります。どなたでも参加できますので市民の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

問い合わせ先 紙風船 TEL083-25008721



【寄附寄贈】(順不同 敬称略)
平成31年4月〜令和元年9月
たくさんの方々の皆様のご支援に
心から感謝申し上げます。

- 佐藤 恵子
- 阿部 源太
- 下本 敬子
- 白石 家門
- 福川 太一
- 匿名 浩之
- 東海林 拓也
- 小田 浩之
- 植田 実知子
- 岩田 光郎
- 平田 康修
- 川添 修子
- 水野 大道
- 西山 精治
- 中村 精治
- 奥谷 奈美
- 黒津 愛奈
- 佐久間 健一
- 藤永 龍具
- 石井 美智子
- 匿名 幸男
- 喜嶋 耕治
- 村田 博美
- 藤村 守
- 青木 隆行

編集後記

大空も高く澄みわたり、ほんとうにいい季節になりました。皆様のご支援のおかげで子どもたちは元気です。ラグビー日本代表を応援しています。

この度は地域交流として、毎年十二月に「餅つき」「大掃除」と支援頂いています「西日本高速道路・北九州高速道路事務所」の企画により職場見学に行くことが実現し、子どもたちも先生も楽しい夏休みの一日を過ごす事ができました。

これからも、地域貢献、地域交流を後援会もさらに支援し協力していきます。

太刀山 逸男

後援会加入のお願い

法人年会費 一口 一万円
個人年会費 一口 千円
何口加入されてもかまいません。
お問い合わせはなかべ学院まで
TEL083-266-1934

啓さんの知恵袋
理事長 石川 啓